2026 年 11 月 25 日
TDSE 株式会社
（証券コード：7046 東証グロース）

TDSE、「DX＆AI Forum Online 2026 冬」に登壇

「AI エージェントに、どこまで任せてよいのか」AI ガバナンス解説

AI の活用範囲を安全かつ段階的に広げる「評価可能な AI ガバナンス」の考え方を紹介

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹）は、株式会社ビジネス＋IT が主催するオンラインイベント「DX＆AI Forum Online 2026 冬」（2026 年 12 月 8 日（火）開催）に登壇し、AI ガバナンスに関する講演を行うことをお知らせいたします。

AI エージェントの業務活用が広がるなか、企業には AI を導入するかどうかだけでなく、どの業務をどの条件でどこまで任せるのか、またその判断をどう説明するのかが問われるようになっています。当社のデータテクノロジーラボ（DTLab）では、こうした問いに応える枠組みとして「評価可能な AI ガバナンス」の考え方を整理し、2026 年 10 月に技術コラムとして公開しました。本講演では、この考え方を当社で検証を進めている取り組みとあわせてご紹介し、ガバナンスを AI の利用を縛るルールとしてではなく、安全性を確かめながら活用の幅を広げるための仕組みとして捉え直します。

1、講演の内容

講演では、AI エージェントを「結果・工程・役割・権限」の 4 つの観点で評価し、その結果をもとに任せる範囲を段階的に広げていく考え方を解説します。主な内容は以下のとおりです。

- AI エージェントを本番業務で活用するための課題の整理
- 「どこまで任せるか」を判断する、結果・工程・役割・権限の 4 観点による評価
- 支援・下書き、承認付き実行、条件付きの自律、高度な自律という段階的な自律度
- AI 活用を安全に広げるための仕組みとしてのガバナンス
- TDSE で検証を進めている取り組みのご紹介

開催概要

開催日時	2026 年 12 月 8 日（火）14:50～15:20（TDSE 講演枠）
タイトル	AI エージェントに、どこまで任せてよいのか～任せる範囲は評価で決め、評価で広げる～
登壇者	TDSE 株式会社 データテクノロジーラボ 所長 脇坂 隆之 博士（物理学）。データ分析・機械学習のビジネス活用に従事し、現在は生成 AI・AI エージェントをはじめとする先端技術の調査・検証を推進
開催形式・参加費	オンライン Live 配信 参加無料・事前登録制

詳細はこちらをご覧ください。⇒ イベント案内

2、なぜ今、AI ガバナンスなのか

AI エージェントは回答を生成するだけでなく、計画を立て、判断し、システムを操作するところまで担います。そのため誤りが生じれば、文章上の誤りでは済まず、業務上の行動として社外にまで影響が及ぶおそれがあります。AI の役割が「書く・調べる」から「動く」へと広がるにつれ、どこまで任せるかをどう決め、どう説明するかが、企業にとって避けて通れない課題になっています。

本番導入にあたっては、モデルの精度に加え、業務目的への適合、行動に至るまでの工程、人と AI の責任分界、データやシステムへの権限、さらに監査と継続的な運用までを一体として評価する必要があります。当社では、AI エージェントの結果、そこに至る工程、担う役割、行使する権限を、業務目的やリスク許容度、監督方針に照らして評価でき、その評価をもとに人が利用の可否や承認、停止、改善、自律度の引き上げを判断できる状態を「安心して任せられる状態」と定義しています。目指すのは最も自律的な AI ではなく、評価の裏付けをもって任せる範囲を安全に、段階的に広げていくことであり、それが企業の実装力と競争力につながると考えています。この考え方は DTLab の技術コラム「AI エージェントに、どこまで任せてよいのか」（10 月 9 日公開）で詳しく整理しており、本講演では実務への導入を検討されている方々に向けて、その要点をお伝えします。

■参考

2026 年 10 月 13 日開示： データテクノロジーラボの取組開示（プレスリリース）

2026 年 10 月 09 日公開：「AI エージェントに、どこまで任せてよいのか」DTLab コラム

3、今後の展開

今後は、DTLab の研究から得られた評価手法や設計指針、プロトタイプを社内の共通資産として活かし、コンサルティングや各種サービスの高度化、新たなソリューションの企画、さらにはお客様との共同検証へとつなげてまいります。先般始動した生成 AI オンプレ基盤「TDSE AI Forge」も、研究で得た知見を事業に結びつけた一例です。

本講演もまた、AI ガバナンスの重要性と DTLab の研究成果を広く知っていただくための取り組みの一つと位置づけています。今後も技術コラム「データテクノロジーラボコラム」やホワイトペーパーを通じて研究成果を継続的に発信し、共同研究や社外との対話から見えてきた課題を次の研究テーマに活かしていきます。こうした循環を通じて先端技術の事業化を加速し、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

■ TDSE 株式会社 概要

所在地	東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー27 階
代表者	代表取締役社長 東垣直樹
設立	2013 年 10 月 17 日
資本金	8 億 3,318 万円
役職員数	193 名（2026 年 10 月 1 日現在）
事業内容	データ経営を目指す企業向けに AI 技術を中心とした統合型ソリューションを提供
上場市場	東証グロース（証券コード：7046）
ホームページ	https://www.tdse.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ

【サービスに関するお問い合わせ】

E-mail： info@tdse.jp

お問い合わせフォーム：https://www.tdse.jp/contact/

【報道機関・投資家からのお問い合わせ】

E-mail：Investors@tdse.jp